

町長回誌 No.211



町長日誌の第211号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

5月18日(火曜日) AM 11:00

素晴らしい初夏日和のなか、朝から北興育成牧場の入牧(秋まで牛を預ける)作業が行われました。約180頭の若牛が新緑の牧草地に放されます。この作業が行われると春から夏へと季節は移ろうのです。

我が家にも放牧地があるのですが、そこで先日ヒグマの親子を発見しました。この母熊は昨年春まで3頭の子熊を2年間育てていましたが、何とまた3頭の小さな子熊を引き連れていました。この熊は牛が放れていても襲うことはありませんし、家には一定の距離までしか近づきません。時折、牧草地に出てきて私たちに子熊の成長を見せてくれます。「家の側に熊なんて危ない!」と思われる人も多いでしょうが、残飯などの餌を人が与えたりしなければ、熊は非常に臆病な生き物ですから人と一定の距離を保ちます。なお、熊の子育ては産んでから2年前後と言いますが、今回生まれた3頭の子熊が無事に育つことを願うばかりです。

5月6日(木曜日)

今日から興部町のワクチン接種が始まりました。本町は病院での接種を基本として毎週水・木・金の午後に接種をします。ワクチンの搬入がスムーズでないことから3週間隔で2回接種完了を前提に日程調整して高齢者の方にご案内をします。6、7日は医療従事者とワクチン接種に関わる人への接種です

が、危機管理などの対応も考え町民の皆さんと接する際にご心配をおかけしないように病院とも協議のうえ私も今日接種をさせていただきました。接種後の副反応を見るため15



分タイマーが渡され、異常が無ければ帰れます。接種して数時間は腕の痛みもなかったのですが、夜になると軽いしこりと痛みが出てきました。でも一日経てば痛みも消え他の異常もありませんでした。接種に際しては体温測定後あらかじめ記入していた問診票を提出し、医師の診察があります。肺の音など健康状態を確認して問題が無ければその場で注射です。注射液量はインフルワクチンよりも少ないです。服装は半袖かゆったりしたシャツなどを着用した方が診察や接種に便利です。イスラエル等ワクチン先進国のデータでは住民の半数がワクチンを接種すれば集団免疫の効果が得られると聞きます。12日の週は入院患者やきらりの入所者および介護職員への接種を行い、19日の週から高齢者の接種を一日90人の規模で行います。高齢者への接種では事前に接種日が調整されておりネット予約などの手間はありません。今後の予定はワクチン入荷次第ですが26日の週から2回目の接種を行い7月中には高齢者への接種を終え、一般の方は8月からの接種予定ですので、それまでご辛抱ください。

いつの間にか、野山が黄緑色になり、桜に代わってスモモやツツジ、水仙、チューリップなどが咲き乱れる良い季節となりました。でも、案外きれいなのがタンポポの花の黄色です。酪農家にするとタンポポが群生すると牧草収穫量が減少することから「雑草」扱いされていますが、緑の草の中に咲く黄色いタンポポもなかなかのものと思う今日この頃です。では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

